



加盟団体各位
加盟団体競技委員長各位
加盟団体レフェリー委員長各位

公益財団法人日本アイスホッケー連盟
レフェリー委員長代行 小松 正樹
(公印省略)

ハイスティックの解釈、改正について

■ルール改正の理由

現行のルール及びルールブックは、センターラインパスが廃止された1998年に制定され以後改正を繰り返してきたが、数度の改正によって、重複する情報などで矛盾するものが現れたり、ルール説明に必要なものが抜け落ちていたりするなどを原因とする。

■改正の内容

2014-2018ルールブックは全面改訂であり、レイアウトや掲載の順序などもすべて変更されている。そのため、世界各国で翻訳等に時間を要し、解釈の仕方でルールに誤差が生じていた。IIHFに於いても、いまだルールブックとケースブックをホームページ上で更新し続けている状態である。

■ハイスティックング・ザ・パック解釈の変更

2014-2018ルールブックに於いてハイスティックング・ザ・パックのバイオレーションが発生した場合、ゾーンを一つ下げたポジションでのフェイスオフでゲームを再開していたが、2017-2018シーズンからはニュートラルゾーンでバイオレーションが発生した場合、犯していないチームが不利にならない最寄りのスポットでのフェイスオフでゲームを再開する。



ハイスティック後のフェイスオフのポジションの変更

